

第12回独立行政法人評価委員会議事録

<http://www.mhlw.go.jp/shingi/2004/12/txt/s1201-3.txt>

平成16年12月1日(水)

10:00~12:00

於：厚生労働省省議室

前略

1つだけ大変重要な評価委員会に係る審議事項がありましたので、それを先週の金曜日に審議致しました。それはどういう事かと申しますと、今まであった**2つの国立病院を譲り渡してしまおう**という、そういう話でありまして、要するに重要な財産の譲渡という事にあたるそうでありまして、これは評価委員会としてそれでいいのか悪いのかという御意見を申し上げる必要があるという事で審議されたわけであります。

それで結論としては、2つとも譲り渡して結構であろうという事になりまして、お手元にある参考資料の中にはそのうちの1枚しか映っておりませんが、24ページには**国立奈良病院の譲渡**。実はもう1枚ありまして、それは**まだ発表ができない**という状況でありますので、まだ申し上げられないので取り扱っていないという事ですが、2件あるという、そういう事であります。

それで、これはですね、売り渡すと独立行政法人にお金がたくさん入ってくるかという残念ながらそうではありません。それは、前の国立病院を譲り渡す時の法律が今でも生きておりまして、ある条件を満たせば、つまり職員を引き取ってくれば、ただであげるというそういう話になってるものですから、1つの方はただで上げますという形と、もう1つの方は、これは俗な言葉で言えば、割引をして多少のお金は入ってくるという事でございますが、この2つの件は部会としては、こういう事になっております。

それから、国立病院機構が財政的にどうなってるんだという事は、先ほど息をのんでみんな見てると申しましたが、大変心強いことには、財政状態は大変改善をしつつあるという御報告でありまして、事実、データのいくつかを見せていただきましたが、確かにそのような方向にあるとなっております。その点は国立病院機構の皆様の御苦勞を称えたいと思っておりますが。そんな事でそんな感じではないかと思うんですけども、以上です。